

横須賀市中小企業景況レポート

第 30 号 (令和 2 年 4 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyuripoto.html)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：163社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査149社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和元年10～12月の景況感（調査時点 令和元年12月1日）
今期・・・令和2年1～3月の景況感（調査時点 令和2年3月1日）
次期・・・令和2年4～6月の景況感（調査時点 // ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI値を記載

全業種の景況感は、前期の△5Pから11P悪化し、【△16P】となりました。

今期は全業種で悪化しました。特に、製造業が前期の△3Pから19P悪化し【△22P】、不動産業が前期6Pから20P悪化し【△14P】になりました。卸・小売業は、下がり幅は少ないものの、景況感が【△32P】で厳しい状況です。

次期については、不動産業で大幅な改善を見込む中、建設業、卸・小売業、サービス業は更に悪化する見込みです。

全業種の項目別でみると、売上額、収益が大幅に悪化しています。

昨年同期（平成31年1月～3月）の景況感比較は、「変わらない」が半数以上を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 △22P <悪い> ↓ 】 (前期比△19P)

売上額【△41P】、収益【△44P】、資金繰り【△6P】が、それぞれ 49P、31P、16P と大幅に悪化しました。

次期はほとんどの項目で改善し、その中でも売上額は、収益は大幅に改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・働き方改革による労働時間の規制がある為、急ぎの仕事を受けることができなくなった。
- ・年度が替わっても悪い状況が続くと思う。現在人員が不足しているが、今後の見通しが悪く、増員は厳しい。
- ・新型コロナウイルスの影響により売上減少を警戒している。原材料等を確保し、受注に対応できる体制作りを確立して、売上をできる限り維持し利益計上できるよう努めている。

(2) 建設業 景況感 【 10P <やや良い> ↗ 】 (前期比△12P)

前期と比べ、売上額【7P】、収益【0P】がそれぞれ 22P、12P 悪化しました。雇用人員【△35P】は、10P 改善しましたが、厳しい状況が続いています。

次期は、売上額、収益が更に悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、中国から資材が届かず新しい仕事が進まない。
- ・継続した受注は確保されているが、人手不足から現状より受注量を増やせない状況。
- ・今年は大型案件がない分売上が減少しているが、利益率を勘案した受注確保をしている。業界の傾向として春先は受注量が減少傾向にある。

(3) 卸・小売業 景況感 【 Δ32P <悪い> ↓ 】 (前期比Δ7P)

雇用人員【Δ22P】は12P改善しましたが、売上額【Δ38P】、収益【Δ34P】は、それぞれ8P悪化しました。

次期は、景況の悪化に伴い、売上額、収益が更に悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・消費増税と新型コロナウイルス感染症の影響により、だいが来客数が下がっている。
- ・消費増税後、高額商品の動きが鈍い。キャッシュレスポイント還元やセール等で大きな減少にならないように注力しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により大変厳しい局面が予想される。

(4) 不動産業 景況感 【 Δ14P <やや悪い> ↘ 】 (前期比Δ20P)

資金繰り【7P】は14P改善しましたが、売上額【Δ29P】は35Pの大幅な悪化となりました。

次期は、景況感の改善とともに、売上額、収益が大幅に改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・1、2月は業種柄売上減少傾向にある。特に今年は、新型コロナウイルス感染症の影響かは不明であるが、減少傾向にあった。
- ・仲介部門は低調であったが、注文住宅とリフォーム部門によって売上を確保した。近隣地域で建売販売が増加傾向にあり、仲介部門の営業強化を図り、顧客確保に努めていく。

(5) サービス業 景況感 【 Δ11P <やや悪い> ↘ 】 (前期比0P)

ほとんどの項目で横這いですが、売上額【Δ11P】、収益【Δ14P】はそれぞれ8P、5Pと悪化しました。

次期については、景況感の悪化に伴い、売上額、収益がさらに悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、特別融資が実施される旨、協会から連絡があったが、この先いつまでこの状況が続くのか分からず、融資を受けても返済できるか分からない。
- ・今年の冬は、暖かい日が多かったため、例年より灯油の売上が落ち込んだ。灯油は、ガソリンよりも利益率が高いために影響は大きい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊のキャンセルが相次ぎ、レジャーを控える消費者心理の影響がうかがえる。例年、桜の花見客で集客を見込める時期のため、ランチでの集客を目指す。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和元年10～12月の景況感（調査時点 令和元年9月1日）
 今・・・今期 令和2年1～3月の景況感（調査時点 令和2年3月1日）
 次・・・次期 令和2年4～6月の景況感（調査時点 令和2年3月1日）



業種別調査企業数（業種別調査企業数(回答数)）

(単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	169	40	31	47	15	36
今期	163	36	31	47	14	35
次期	163	36	31	47	14	35

(単位:ポイント)

業種 項	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	20	15	13	20	14	17	35	29	23	15	6	4	13	7	29	17	20	9
変わらず	55	54	51	57	50	47	52	52	54	45	56	45	80	72	71	55	49	51
悪い(B)	25	31	36	23	36	36	13	19	23	40	38	51	7	21	0	28	31	43
DI値(A)-(B)	△5	△16	△23	△3	△22	△19	22	10	0	△25	△32	△47	6	△14	29	△11	△11	△31
今-前/次-今	△11		△7	△19		3	△12	△10		△7	△15		△20	43		0		△20
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	25	15	13	28	6	11	42	26	26	17	13	6	13	0	21	22	26	11
変わらず	49	46	52	52	47	58	45	55	48	36	36	43	80	71	72	53	37	52
悪化(B)	26	39	35	20	47	31	13	19	26	47	51	51	7	29	7	25	37	37
DI値(A)-(B)	△1	△24	△22	8	△41	△20	29	7	0	△30	△38	△45	6	△29	14	△3	△11	△26
今-前/次-今	△23		2	△49		21	△22	△7		△8	△7		△35	43		△8		△15
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	21	12	10	15	3	14	35	23	16	17	9	2	20	14	21	22	17	9
変わらず	49	53	57	57	50	55	42	54	65	40	48	51	67	72	72	47	52	54
減少(B)	30	35	33	28	47	31	23	23	19	43	43	47	13	14	7	31	31	37
DI値(A)-(B)	△9	△23	△23	△13	△44	△17	12	0	△3	△26	△34	△45	7	0	14	△9	△14	△28
今-前/次-今	△14		0	△31		27	△12	△3		△8	△11		△7	14		△5		△14
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	5	4	6	10	3	6	3	10	13	4	4	2	0	0	0	6	0	6
適正	55	62	62	55	61	63	49	45	48	58	70	68	67	71	71	50	63	63
少ない(B)	40	34	32	35	36	31	48	45	39	38	26	30	33	29	29	44	37	31
DI値(A)-(B)	△35	△30	△26	△25	△33	△25	△45	△35	△26	△34	△22	△28	△33	△29	△29	△38	△37	△25
今-前/次-今	5		4	△8		8	10	9		12	△6		4	0		1		12
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	12	9	8	20	11	11	16	16	13	11	4	6	0	7	7	8	6	3
支障がない	66	66	67	70	72	70	61	52	61	51	60	58	93	93	93	73	74	74
苦しい(B)	22	25	25	10	17	19	23	32	26	38	36	36	7	0	0	19	20	23
DI値(A)-(B)	△10	△16	△17	10	△6	△8	△7	△16	△13	△27	△32	△30	△7	7	7	△11	△14	△20
今-前/次-今	△6		△1	△16		△2	△9	3		△5	2		14	0		△3		△6

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答150社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	18社	12%	22%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	83社	55%	53%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	49社	33%	25%
DI値(A)-(B)		△21P	△3P

